

学校便りチャレンジ (Challenge)

第 20 号

令和 7 年 12 月 24 日 (水) 文責：校長

交流学習(1・2年生)！

17 日(水)に 1 年生が岡富中学校へ、2 年生が南中学校へ交流学習に行ってきました。

教科を中心に交流を行いましたが、1 年生はこの花ロードの花壇への植栽活動もしました。1・2 年生とも最初は緊張していたようですが、次第にクラスにもなじみ、会話も弾んでいたようです。受け入れの中学校も、北川中生を歓迎してくれ、仲良くしてくれたようです。2 年生は、昨年の岡富中学校から南中学校と学校は変わりましたが、多くの友人もでき、学びに対する刺激を受けたことでしょう。3 学期にも予定していますので、次に会うときには、お互いに成長した姿を見せられるようにチャレンジし続けましょう。



2 学期終業式！

ようやく長い2学期も今日で終了です。終業式で、1年生の小川 蓼斗さん、2年生の柳田 愛翔さん、3年生の木本 愛音さんに2学期を振り返ってもらいました。



各学年でも様々な取組をしてくれました。1 年生は、家田湿原駐車場にオリジナルの花壇製作に取り組みました。1 学期から計画を進め、1 回目は雨の中での作業で、2 回目に現在の形になりました。そして、花の苗植えまで終わりました。今は、岩佐さん夫妻の水やりのお陰で元気に花を咲かせています。花壇とビオトープに看板も設置されましたので、時間のあるときに見に行ってください。

3 年生は、家田湿原駐車場にトイレから桜並木にかけて記念植樹として 17 本のサクラを植えました。17 本には、今年ドジャースで活躍した大谷選手の背番号とも重ねています。北川中を卒業して世界に翔いていけるようにという願いを込めています。春には、いくつかの花は咲く予定です。

学校全体としては、学年を中心とした文化発表会と地域と連携した体育大会と大きなチャレンジをしました。今日帰ったら自分自身のチャレンジについても振り返ってください。

最近のニュースでは、日本人のノーベル賞の授賞式の話題が流れています。ノーベル化学賞の京都大学の北川進特任教授とノーベル生理学・医学賞の大坂大学の坂口志文特任教授です。

坂口教授は、根気強く研究を続け、1995年に『制御性T細胞』の存在を証明する論文を発表しました。その当時はあまり認知されませんでしたが、その後、トライ アンド エラーを繰り返し、ようやく実績が認められ、今回の受賞へつながったのです。

ドジャースの大谷翔平選手ですが、チームの2連覇に2刀流として大きく貢献しました。ピッチャーと打者の二刀流は、10年前はプロでは通用しないのではないかと言われていましたが、今では唯一無二の存在で世界一の選手となっています。打者と投手の二刀流ですので、人の2倍以上の練習をしなければ結果は出せません。自分を信じて努力し続けることの大切さを教えてくれますね。

今年はへび年でしたが、チャレンジすることで、一皮も二皮脱皮して成長できましたか。来年は午年です。午はどんな生き物なのかを考え、新しい年の目標を立ててみてください。1月7日に元気な姿で会えるのを楽しみにしています。

生徒会サミット(生徒会)！

25 日(木)に生徒会の甲斐きわさん、谷口大河さん、塚本楓夏さんの生徒会 3 名が延岡市内の中学校が集まる生徒会サミットに参加します。

延岡未来ワークショップとして、これから延岡をどう変えていくといいのかを中学生の目線で意見交換し、市長に提言する場です。今年の家田湿原緑化プロジェクトやホタル再生プロジェクト、地域と共に行った体育大会などが参考になるのではないでしょうか？自分の考えをしっかりと発表し、延岡の未来について建設的な意見交換をしてください。延岡の未来は君たちにかかる。よろしくお願ひします。